

建設通信新聞

国交省CIM

来年度に詳細度の目安

ガイドライン骨子提示

国土交通省は、CIM（コンピュータシミュレーション・インフォメーション・モデリング）の普及拡大に向け、制度・基準上の課題解決策を議論している「CIM制度検討会」の第6回会合を18日開き、調査・設計、施工、維持管理といった各段階や使用目的に応じた詳細度（LOD）の目安を、2015年度中に提示する方針を示した。また、16年度中に策定するCIM導入ガイドラインの骨子（目次素案）も初めて提示した。

国土交通省は地形モデル、構造物モデルそれぞれについて、LODのあり方を検討中。基本的には調査、概略設計、予備設計、詳細設計、施工、維持管理と事業の段階が上流から下流に進むにつれて、LODのレベルを上げていくことになりそうだ。12月からスタートした産学官連携による実モデル構築事業の検討成果な

どを踏まえ、詳細を詰める。

13年10月に作成した「CIM試行業務における成果品作成の手引き」を拡充し、15年度から運用開始する。3次元モデルや数量算出表、業務概要など複数のファイルが混在し、検索・取り出しに手間が掛かっていることから、報告書や3次元モデル、数量表などを入れるファイルを規定する。新たに工事に対応した手引きも追加作成する予定だ。工事の入札公告時に、参加者に提供する2次元の図面データ（PDF）を、一部案件で3次元化する検討にも入った。CIM導入ガイドラインは、「総則」「地質・土質」「測量」「設計業務」「工事」「維持管理」の大きく6編で構成するイメージ。この中でモデル作成の手順、LODの目安、属性情報や図面作成のあり方などを示す見込みだ。

【建設ICT】

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 日経 | 2. 朝日 | 3. 毎日 |
| 4. 読売 | 5. 朝日 | 6. 中日 |
| 7. 産経 | 8. 朝日 | 9. 伊勢 |
| 10. 中部 | 11. 建設 | 12. 日刊工業 |
| 13. 建設通信 | 14. 信濃毎日 | 15. 日本海 |
| 16. 建設工業 | | |

平成26年12月24日(朝)・夕) P 1

今回の検討会では、維持管理段階でのCIM活用をめぐり意見が多く出たほか、企業側にCIMを使うことのメリットを積極的に発信する必要性を訴える声などもあった。